

学校教育目標	夢と希望をもち、人間性豊かで心身ともにたくましい子の育成 ～かしこく やさしく たくましく～
目指す学校像	共に高め合う学校 よさを認め合う学校 安全で美しい学校 ～認め合い・学び合い・共に育つ～

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体性、粘り強さを重点としたカリキュラムマネジメントで「真の学力」を育成する。</li> <li>児童のSOSの早期覚知と保護者との連携強化で、一人ひとりのWell-Beingを保障する学校をつくる。</li> <li>ICTを活用した積極的な情報発信と、地域の教育力の活用により、地域と共にある学校をつくる。</li> <li>目的を明確に計画的に学校予算を執行し、安全で清潔な学校をつくる。</li> <li>ワークライフバランスを整え、一人ひとりが自らの力を発揮し、伸ばしあう教職員集団をつくる</li> </ol>
------	--

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学 校 運 営 協 議 会 による 評 価	
		年 度 目 標		年 度 評 価		実 施 日 令 和 8 年 2 月 5 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
学びの質の向上に関する取組	1	<p>&lt;現状&gt; ○全国学力・学習状況調査では、国語・算数ともに全国平均と比べ良好な結果である。 ○学習意欲・学力ともに個人差が大きい。</p> <p>&lt;課題&gt; ○子ども自らが、課題を見出し、主体的に取り組むことができるよう支援する必要がある。 ○「学んだことが生活に生かせる」と実感できるよう、教員の働きかけが必要である。</p>	<p>・真の学力の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>目指す児童像を、教育課程を通して実現するため「カリマネ検討会」を年3回以上実施する。</li> <li>全教員が、学習の質的向上を目指し、年3回以上の公開授業を、GIGA端末の活用を必須として実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「教育課程を通して目指す児童像の実現を図っている」の教員の肯定的評価80%以上。</li> <li>2 年3回の公開授業をGIGA端末を効果的に活用して実施したか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「教育課程を通して目指す児童像の実現を図っている」の教員の肯定的評価100%。</li> <li>2 全ての教員が、GIGA端末を活用して、年3回の公開授業を実施した。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、単元を通してつけたい力を児童と共有しながら、主体的に学ぶ児童を育成していく。</li> <li>・書くこと、読むことがおそかにならないように、家庭学習を含めて取り組みを充実していく。</li> </ul>
		<p>・学び続ける児童の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題の解決に向けて自分で考え、取り組む授業を通して学び方の指導を進める。</li> <li>2 総合的な学習の時間を核として、学びを生かして活動する場を充実させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「課題の解決に向けて自分で考え、取り組んでいたか」の肯定的な回答の向上 (R6:84%)</li> <li>2 学習の振り返りで自分の成長の気づきや今後さらに追及したいこと等への記述が増えたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「課題の解決に向けて自分で考え、取り組んでいたか」の肯定的な回答が90.7%。</li> <li>2 「活動しては振り返る」「成長の気づきや新たな疑問への評価」が浸透した。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の研究指定を受け、教育課程の柔軟化を図り、学習の計画を立てたり、振り返ったりする時間を確保する。</li> <li>・学んだことを活用し、社会とつながる総合的な学習の時間を充実させる。</li> </ul>	
心のサポートに関する取組	2	<p>&lt;現状&gt; ○全国・学力学習状況調査において、「学校に行くのは楽しい」の質問に肯定的に回答した児童の割合は全国を上回っている。 ○様々な要因によりストレスを抱えるなどし、欠席が30日以上の子が複数いる。</p> <p>&lt;課題&gt; ○児童一人ひとりの状況を把握し、適切なタイミングで組織的に相談・支援していく体制を継続していく必要がある。 ○決められたことに取り組むだけでなく、身の回りの環境を自らの手で変えていこうとする意欲を向上させる必要がある。</p>	<p>・主体的に活動する児童の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童のよさに着目する「努力を認め励ます」教育を推進する。</li> <li>2 成功のなぜを問い、失敗の次を聞く指導を徹底する。</li> <li>3 委員会活動を中心に、自らのアイデアを実現する機会をもつ。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「先生はあなたのがんばったことや良いところを褒めたり励ましたりしてくれる」の「そう思う」と回答する児童の増 (R6:53.2%)</li> <li>2 委員会活動において自らのアイデアによるキャンペーンを実施できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「先生はあなたのがんばったことや良いところを褒めたり励ましたりしてくれる」の「そう思う」と回答した児童は61.7%。</li> <li>2 全ての委員会活動において自らのアイデアによる活動を実施した。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価「ほめたり励ましたり」肯定的な回答は、子供も保護者も93.7%だったため、引き続きよさを保護者と共有しチャレンジする気持ちを高める。</li> <li>・児童会活動を核とし、児童が学校づくりに参画する仕組みを維持する。</li> </ul>
		<p>・児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談にかかる組織的な対応の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童のSOSを見逃さないため、スクールダッシュボードを複数の教員で確認し対応する。</li> <li>2 落ち着いた環境で安心して学べるSolaルームの環境を整える。</li> <li>3 生徒指導・教育相談部会で情報共有と対応策を検討する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スクールダッシュボードを毎日複数の教員で確認できたか。</li> <li>2 Sola ルームの環境を整え、利用方法を周知したか。</li> <li>3 生徒指導・教育相談部会を定期的に開催したか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スクールダッシュボードを担任、学年、養護教諭、管理職等で毎日確認し声掛けに生かした。</li> <li>2 Sola ルームの環境整備が進み、利用方法も周知され、活用されている。</li> <li>3 生徒指導・教育相談部会は、定期的に加え臨時会も開催し情報共有や対応策の検討ができた。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き児童の様子を複数の目でもよく観察し、迅速に保護者や関係機関とつなぐことにより、児童が安心して学べる環境を整えていく。</li> <li>・保護者を支える視点ももち、専門機関と連携を図る。</li> </ul>	
地域とともにある学校づくりに関する取組	3	<p>&lt;現状&gt; ○学校運営協議会で、地域、家庭、学校、児童それぞれが、学校教育目標に向かってできることをアクションプランにまとめた。</p> <p>&lt;課題&gt; ○コロナ禍を経て、地域の方を授業に招く実践が減少した。 ○地域の一員として、地域や社会をよりよくするために何かしたいという意欲を育む必要がある。</p>	<p>・浦和大里地区の子どもたちの健全育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会に児童が参加し、意見を述べる場をつくる。</li> <li>2 地域、家庭、学校、児童が学校教育目標の実現にむけた取組「アクションプラン」に基づき、進捗状況や成果などを話し合う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会に児童が参加し意見を述べることができたか。</li> <li>2 学校評価「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の児童の「そう思う」の回答の増。(R6:42.2%)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会に児童が参加し、意見を述べることができた(のべ3回)。</li> <li>2 学校評価「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の児童の「そう思う」の回答が51.2%。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら環境に働きかけることにより、居心地の良い学校になることを理解した児童が増えた。児童のアイデアや、やってみようとする意欲を後押ししていく。</li> </ul>
		<p>・目指す子供像を家庭や地域と共有するための教育活動の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学校ボランティア」の充実。</li> <li>2 総合的な学習の時間で、地域をフィールドとした教育活動を実施する。</li> <li>3 学校ホームページを週3回以上更新する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「地域の教育資源の活用」の教職員「そう思う」回答の増(R6:22%)</li> <li>2 学校ホームページを週3回以上更新できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「地域の教育資源の活用」の教職員「そう思う」の回答は25.6%。</li> <li>2 学校ホームページはほぼ毎日更新した。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動が充実してきた。PTAのボランティアと連携を図り、より協働体制を築いていく。</li> <li>・地域の教育力を生かした授業実践を充実させていく。</li> </ul>	
教育環境の整備に関する取組	4	<p>&lt;現状&gt; ○予算委員会を実施し、目的を明確にした購入計画を立て、計画的に予算を執行している。 ○使用していない物品が校内に点在している。</p> <p>&lt;課題&gt; ○落ち着いた環境づくりのため、教職員による施設設備の安全点検や整理整頓を確実に行うとともに、児童自らが生活環境を整え、安全意識を高める力を育む必要がある。</p>	<p>・教育環境の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育課程を意識した予算の執行。</li> <li>2 安全点検や校内巡視で判明した瑕疵は、事務担当や業務担当と連携をとり、未対応を0とする。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 12月未予算執行率70%以上。</li> <li>2 安全点検や校内巡視で判明した瑕疵に対し1週間以内に対応できたか。</li> <li>3 レガシースペースの設置</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 12月未予算執行率は75.4%。</li> <li>2 安全点検や校内巡視で判明した瑕疵に対し1週間以内に対応策を明示した。</li> <li>3 レガシースペースを玄関に設置した。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用頻度がほばない古いものの廃棄を計画的に行う。</li> <li>・教育課程を見通した予算会議を行い、効果的な予算運用を行う。</li> </ul>
		<p>・安全に生活しようとする児童の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 整備された空間を維持するために清掃の仕方を身につけさせる。</li> <li>2 安全に関する内容を特別活動の年間計画に組み込み、自分事として考える授業を実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日常の清掃状況を把握し、美しい生活環境が維持できたか。</li> <li>2 学校評価「安全に気を付けて生活している」の児童の「そう思う」評価の向上 (R6:68.4%)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「雑巾マスター」目指した取り組みを実施中。</li> <li>2 学校評価「安全に気を付けて生活している」の児童の「そう思う」の評価は73.6%。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは丁寧な雑巾がけから取り組んだが、勤労意欲を高めたい。</li> <li>・児童の評価と、教職員・保護者の評価に乖離が見られる。実践につながる安全教育をさらに工夫したい。</li> </ul>	
教職員のキャリア形成に関する取組	5	<p>&lt;現状&gt; ○時間外在校時間の平均は34時間程度である。 ○教職経験年数の平均が12.7年である。</p> <p>&lt;課題&gt; ○年度当初や学期初め、終わりなど、事務作業が激増する時期に時間をしっかり確保する必要がある。 ○悩みを気軽に相談したり協働したりできる人間関係づくりが必要である。</p>	<p>・生き生きと働き続ける教職員集団づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 時数を整理し、学期初めの4時間授業、学期終わりの放課後フリーを実現し、事務作業を行う時間を確保する。</li> <li>2 専科を学年の副担任として配置し、児童を多く目で見たり、協働したりしやすい状況をつくる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「ワークライフバランスの配慮がなされ、自らの資質を高める時間ととることができる」の職員の「そう思う」の回答の向上 (R6:28.9%)</li> <li>2 時間外勤務時間の削減 (R6:33h50m)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「ワークライフバランスの配慮がなされ、自らの資質を高める時間ととることができる」の職員の「そう思う」の回答は32.5%。</li> <li>2 時間外勤務時間の平均は26h53m。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度からの取組が成果を上げていたため継続して取り組む。行事計画の綿密な立案により、時数の整理と業務の標準化をさらに進める。</li> <li>・副担任制や研修グループ等、職員が協働し合う職場づくりを継続する。</li> </ul>
		<p>・切磋琢磨し共に伸びる教職員集団づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 少人数の研修グループをつくり、授業改善を核とした研修体制をつくる。</li> <li>2 キャリアナビ、研修履歴を活用した研修奨励を行い、授業参観、職員室の様子から進捗状況を確認する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「校内研修の実施状況は適切である」の肯定的評価の向上 (R6:75%)</li> <li>2 学校評価「キャリアナビや研修履歴を活用し、自身の資質向上に努めている」の「そう思う」評価の向上。(R6:33.3%)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校評価「校内研修の実施状況は適切である」の教職員の肯定的評価は94.7%。</li> <li>2 学校評価「～自身の資質向上に努めている」のそう思うの評価は50%。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内のグループ研修に教育委員会の指導主事の参加を依頼し、専門的な指導のもと授業力を向上させる。</li> <li>・校内研修だけでなく、外部の研修にも参加するよう啓発していく。</li> </ul>	

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

- ・学校で身に付けさせたい力がキーワードでよく伝わったので、地域の活動も、学校の目指しているものと同じ方向を向いて取り組みたい。
- ・習熟度の差は家庭差ではないかと感じる。習熟度の違いを踏まえて家庭学習を含め取り組みを充実させてほしい。
- ・書くこと、読むこと、話すことの指導はぜひ重視してほしい。
- ・学校の仕組みは整ったと感じている。保護者への啓発を学校と共にやっていきたい。
- ・登校時、心配な子どもに名前をよんで声をかけてくれることが大変ありがたい。
- ・どのような子どもも幅広く受け入れる居場所が学校にある。学校外でも居場所づくりが進んでいるのだが、学校に来てもらうようにみんなですっかり働きかけていきたい。
- ・児童の発想がすばらしく、大人も学びがある。子どもの考えを大切にしながら取組が進んでいることが大変良い。
- ・ボランティアの仕組みが大変良い。よいかかわり合いを増やす取組である。
- ・雑巾マスターの取組はすばらしい。学校でしか学べないことをしっかり教えてくれていると感じる。
- ・アンケート項目をより細分化して、できていないことを明確にするとよい。安全指導は保護者も地域もみんなで行っていくべき。
- ・残業時間が減少した。取組が適切だった。また、職員に対するメンタル面のフォローをよく行っていたのではないかと感じる。
- ・研修を活用して同僚性を高める取組がよい。
- ・普段から休みがとりやすい仕組みをつくとよい。